

演習Ⅱ

担当者 石上 敏

開講時期 通年 単 位 8

●講義の概要

受講者各自の研究テーマにもとづき、演習Ⅰで身に着けた調査能力・読解力・記述力などをさらに伸ばしつつ、修士論文の作成に向けて練成させて行く。

●講義の到達目標

演習Ⅰの成果をふまえて、さらに高度な調査能力とその実践、また文献読解能力を養う。

その結果として、修士論文の作成にふさわしい文献作成能力を修得することを目的とする。

●講義計画

- 第1回 授業の説明と1年間の計画策定。
- 第2～5回 演習Ⅰの成果にもとづき、現時点での修士論文の大まかな構成を組み立てる。
- 第6～10回 これまでの論文構成に対して、不足する部分を明確にし、それらをどのように埋めてゆくのかを具体化する。
- 以上を通じて、ヒアリング・アンケート・文献調査・分析等を継続する。
- 第11～15回 現状での論文原稿の問題点を洗い出し、夏期休業中を含めた論文作成の計画を立て、実践してゆく。
- 第16～20回 夏期休業中の成果を論文に組み込みつつ、より明確に全体像を構築する。
- 第21～25回 修士論文作成の最終段階として、細部に目を配りつつ、最大限の力を注いで完成させる。
- 第25～30回 より多くの助言者の助言に耳を傾け、残された時間内に可能な限りのシェイプアップを試みる。

●成績評価基準と方法

講義への参加度及び取り組みの姿勢（30%）、授業中の発表・報告（30%）、また、その結果としてのレポート、課題への取り組み状況（40%）を総合的に評価する。

●テキスト又は参考文献

テキスト及び参考文献は、受講者との相談の上で講義開始後に定める。

その他の資料は、担当者と受講者双方が適宜用意する。

●受講上の留意点

毎回の授業内容を理解し、不明な部分は必ず担当者に質問して早期に理解すること。